

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	165 単位	12 単位	
	作業療法学科	夜・通信	152 単位	12 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公表 https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公表 https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社エムビーエス 代表取締役	4年 2021年3月 ～2025年3 月	理事 管理・運営に関する 意見具申及びガバ ナンス強化
非常勤	共美工業株式会社 代表取締役	4年 2021年3月 ～2025年3 月	理事 管理・運営に関する 意見具申及びガバ ナンス強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業科目について授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を年度ごとに作成する。 ・授業計画作成にあたっては、ディプロマポリシーをふまえた上で到達目標を設定するとともに、教育課程編成委員会における外部委員の意見を参考にする。学科会議を開催し、各科目において到達目標に沿った授業内容・成績評価となっていることを確認する。 ・成績評価は秀・優・良・可・不可の5段階で評価する。 ・授業計画は年度の初めに学生に配布するとともにホームページで公表する。 	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ上にて公表 https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年において履修すべき授業時数の3分の2(ただし、実習においては5分の4)に満たない者については、当該科目の認定を行わない。 ・各科目について、学期末及び学年末における修得認定試験等の考査を行い、合格者に対して当該科目の認定を行う。 ・考査は、試験、論文、報告書その他の方法により行うものとする。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期末・学年末に単位修得試験を行い、合格者に対して単位を認定する。 ・成績評価は100点満点とし、80点以上を優 (GP3点)、79～70点を良 (GP2点)、69～60点を可 (GP1点)、60点未満を不可 (GP0点) で表し、可以上を合格とする。なお、2020年度入学生より、上記に秀 (90点以上、GP4点) を加えた5段階評価とする。 ・各学科各学年でGPAを集計して成績の分布状況を把握するとともに、適切な運営がなされるよう適宜改善を行う。 ・GPAは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $\text{GPA} = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修すべき科目の総単位数}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ上に公表 https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長は、次の各号に該当する者について、卒業判定会議を経たうえで、卒業を認定し卒業証書を授与する。 (1) 規定修業年限以上在学し、卒業に必要な単位の成績評価がすべて可以上であること。 (2) 学費および教材費が納入されていること。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ上に公表 https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
財産目録	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
事業報告書	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3405 単位時間 (1~2年 新カリキュラム)	1770 単位 時間	180 単位 時間	1455 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			単位時間/単位				
4年	昼	3480 単位時間 (3~4年 新カリキュラム)	1470 単位 時間	630 単位 時間	1380 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
169人		114人	0人	7人	62人	69人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・全授業科目について授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を年度ごとに作成し、学生に配布するとともにホームページで公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・学期末・学年末に単位修得試験を行い、合格者に対して単位を認定する。 ・成績評価は100点満点とし、80点以上を優（GPA3点）、79～70点を良（GPA2点）、69～60点を可（GPA1点）、60点未満を不可（GPA0点）で表し、可以上を合格とする。なお、2020年度入学生より、上記に秀（90点以上、GPA4点）を加えた5段階評価とする。 ・考査は、試験、論文、報告書その他の方法により行うものとする。

卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・校長は、次の各号に該当する者について、卒業判定会議を経たうえで、卒業を認定し卒業証書を授与する。 (1) 規定修業年限以上在学し、卒業に必要な単位の成績評価がすべて可以上であること。 (2) 学費および教材費が納入されていること。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・初年次教育を促進するとともに、小グループ学習・個別指導などを通してきめ細かい学習支援を実施する。また、e-ラーニングシステムを利用した国家試験対策・問題配信等を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	21人 (84%)	4人 (16%)
(主な就職、業界等) 医療機関、福祉施設等			
(就職指導内容) 個別相談、業界情報提供、履歴書・面接指導、学院本部キャリアサポート室による支援・指導等等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
114人	4人	3.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振・病気 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 初年次教育の促進、担任制、小グループ担当制、定期的個別面談、進路相談、学院本部総合支援部との連携（学生相談の活用）等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	作業療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3400 単位時間 (1~2年 新カリキュラム)	1650 単位 時間	300 単位 時間	1450 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			単位時間／単位				
4年	昼	3480 単位時間 (3~4年 新カリキュラム)	1470 単位 時間	630 単位 時間	1380 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
169人		55人	0人	5人	55人	60人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 全授業科目について授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を年度ごとに作成し、学生に配布するとともにホームページで公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 学期末・学年末に単位修得試験を行い、合格者に対して単位を認定する。 成績評価は100点満点とし、80点以上を優 (GPA3点)、79~70点を良 (GPA2点)、69~60点を可 (GPA1点)、60点未満を不可 (GPA0点) で表し、可以上を合格とする。なお、2020年度入学生より、上記に秀 (90点以上、GPA4点) を加えた5段階評価とする。 考査は、試験、論文、報告書その他の方法により行うものとする。
卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 校長は、次の各号に該当する者について、卒業判定会議を経たうえで、卒業を認定し卒業証書を授与する。 (1) 規定修業年限以上在学し、卒業に必要な単位の成績評価がすべて可以上であること。 (2) 学費および教材費が納入されていること。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 初年次教育を促進するとともに、小グループ学習・個別指導などを通してきめ細かい学習支援を実施する。また、eラーニングシステムを利用した国家試験対策・問題配信等を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療機関、福祉施設等			
(就職指導内容) 個別相談、業界情報提供、履歴書・面接指導、学院本部キャリアサポート室による支援・指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	4 人	7.2 %
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振・病気 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 初年次教育の促進、担任制、小グループ担当制、定期的個別面談、進路相談、学院本部総合支援部との連携（学生相談の活用） 基礎力リサーチにて入学前の学力を把握、等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理学療法学科	400,000 円	820,000 円	200,000 円	教材費として 300,000 円 (実習費含む)
作業療法学科	400,000 円	820,000 円	200,000 円	教材費として 300,000 円 (実習費含む)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 年度ごとに1回、学校関係者評価委員会を開催し、重点項目取り組み・自己点検評価結果の報告を行うとともに、改善に向けた検討を行う。 1) 主な評価項目(全国専門学校経営研究会版および本校版自己点検・評価項目による) ①学校運営 ・学校の管理・運営体制が確立しているか。 ・財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか。 ・その他本校独自の評価項目 ②教育活動 ・教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされているか。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)。 ・各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)。 ・その他本校独自の評価項目 2) 評価委員会の構成 ①委員の定数:6名 ②委員の選出区分:企業4名、保護者1名、卒業生1名 3) 評価結果の活用方法 ①改善方策の実施時期:7月~3月 ②責任者:副校長

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
山口大学医学部附属病院 遊心会（専門学校 YIC リハビリテー ション大 学 校 同 窓 会） 会 長	2021/4～2023/3	卒業生
医療法人博愛会 老人保健施設ペ あれんと	2021/4～2023/3	企業等委員
医療法人博愛会 老人保健施設寿 光園	2021/4～2023/3	企業等委員
医療法人社団泉仁会 宇部第一病 院	2021/4～2023/3	企業等委員
医療法人社団泉仁会 宇部第一病 院	2021/4～2023/3	企業等委員
保護者	2021/4～2023/3	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）		
https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.yic.ac.jp/rh/
--